

# 第42回 東京モーターショー 2011

## シンテイ警備とJSSが安全確保



24年ぶりの都内開催で来場者80万人を目指す



ブースを視察する寛仁さまを警護(シンテイ警備)



説明を受けられる寛仁さまを警護(JSS)



開会のあいさつをする志賀会長

2年に1度の車の祭典、第42回東京モーターショーの開会式が2日午前、江東区有明の東京ビッグサイトで開かれた。24年振りの東京都内での開催となった今年は、前回リーマン・ショックの影響で出展を貞送った海外勢も、欧州を中心に復帰。参

今回のモーターショーは、モーターショー総裁の三笠宮寛仁さま出席のもと、開会式を開催、主催者を代表して日本自動車工業会の志賀俊之会長は「車は移動手段だけでなく、環境、安全、エネルギーなど、世界のさまざまな問題の解決手段となりつ

つあることを訴えたい」と特別招待日の2日は、

加企業は、国内外合わせて174社と3割以上増えた。「世界はクルマで変えられる」をテーマに各社は電力のインフラとして利用できるプラグインハイブリッド車や電気自動車などを展示。また、インターネットと連携した新機能なども披露した。

続いて牧野聖修経済産業副大臣は、「今回のモーターショーは、震災からの復興・復興を世界に印象付ける場として、重要な催しである」とあいさつ、その後、奥田健国土交通副大臣が「大震災を経験し、わが国が進むべき道は、持続可能で活力のある国土・地域づくりの実現にある。国交省では国民生活の安全・安心の確保や低炭素環境型社会の構築などに取り組んでいる」とあいさつした。

引き続き、豊田章男副会長が開会を宣言し、寛仁さまがテープカットに臨まれた。

シンテイ警備は、西展と語った。

JSSは、東展会場棟、駐車場、外周に会期中の平日、約140人、休日、約230人が配置に付いた。今回は、晴海ふ頭の臨時駐車場の警備、シャトルバスの発着の案内・管理も行った。

柴田隆東京モーターショー警備隊長は、「緊張メッセの開催では車での来場が多かったが、ビッグサイトでは電車を利用者した来場者が増えるので、それに対応した警備を心掛けた。主催者の目標は来場者80万人とされているが、100万人以上を目指してがんばりたい」と語った。

モーターショー総裁の三笠宮寛仁さまは、開会式にご臨席の後、会場内を視察された。電気自動車に乗車された寛仁さまは、トヨタ自動車や本田技研工業、富士重工業などのブースを順に視察。各社首脳から説明を受けられた。

寛仁さまの電気自動車に続き、牧野聖修経済産業副大臣、奥田国土交通副大臣らが乗車した電気自動車も続いた。3台には、シンテイ警備8人とJSS8人の計16人体制で身辺警護を実施した。